

|                             |                                                                                                         |                                                                                     |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 第<br>6<br>号                 |  令和7年9月4日<br>松山市立湯山中学校 |  |
| 【学校の教育目標】 笑顔・夢・挑戦 諦めない生徒の育成 |                                                                                                         |                                                                                     |

## 校長室より「目的意識とチームワーク」

校長 池田 秀彦

長い夏休みが終わり、生徒たちの元気な姿が学校に戻ってきました。この夏休み期間中、大きな事故やけがの報告もなく、おかげさまで無事2学期のスタートを切ることができました。保護者、地域の皆様のご支援・ご協力に、心より御礼申し上げます。

さて、秋は大きな対外行事の充実する時期です。9月9日（火）からは2年生の職場体験学習が始まります。また、10月4日（土）には体育大会、11月1日（土）は湯山中学校文化祭も実施される予定です。このような大切な体験の場で、学びが充実するためには、どのような心構えが必要なのでしょう。

日本人宇宙飛行士として、「スペースX」社の開発した宇宙船で宇宙に行った『野口聡一』さんは、著書「野口聡一の全仕事術」（世界文化社）で、宇宙ステーションでの生活について次のように語っています。「閉じられた宇宙ステーションの中では、優れた才能や技術力よりもチームとしての人間関係作りが最も大切です。仲間とのチーム力を高めていなければ、生死に関わる危険性を抱えながら何日間も宇宙で生活することになってしまうのです。」宇宙飛行士は、課題が見付かったらその都度みんなで話し合っ、落としどころを見つける訓練を日々積んでいるそうです。実際に野口さんも、宇宙では事前の根回しと推察力とで、仲間との関係性を改善してきたと言います。どちらにしても心が安定し、通じ合える仲間がいなければ、宇宙空間で研究を成功させることは難しいということなのでしょう。

宇宙でのミッションにしても、学校行事を成功させるにしても、大切なのは「目的意識」と「チームワーク」です。「何のために行うのか」一人としてお客さんにならず、当事者意識を高め、協力し合っ、ミッションを遂行するならば、一体感のある充実した結果が待っているはずです。2学期は1年間の充実期です。野口聡一さんの宇宙生活に学んで、教職員一同協力して、生徒たちと諸行事を乗り切っていきたいと思っています。



## 第2学期始業式

9月1日に、第2学期始業式を行いました。

始業式では、校長から、「幸せはゴールよりも、走っている最中にある」という考え方を示し、「2学期は体育大会や文化祭など多くの行事があるが、それらの当日は1つのゴールと言える。そう考えると、幸せは、行事が成功した瞬間よりも、成功に向けて努力している最中にあるのではないかと。だからこそ、ゴールに向かって走っている「今」を大切にしたい。ゴールした後になって、もっと頑張っておけば良かったと後悔してほしくない。2学期は、1年間で一番長く、そして最もやりがいを実感できる成長の学期。今日から始まる二度とない令和7年度の2学期、日々「今」を大切に悔いのない充実したものにしてほしい。そして、今学期も「やる気」「本気」「元気で、最高の感動を生徒全員が主役となっ、つくりあげよう。」と式辞が述べられました。



【校長式辞】



【テレビ放送による始業式】



【始業式後の学級活動】

## 県大会・四国大会等の結果

始業式の後、県大会・四国大会等に出場した生徒たちの表彰伝達を行いました。愛媛県総合体育大会でのハンドボール競技の部優勝（四国大会出場）、柔道競技の部女子個人第2位（四国大会出場）、全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会での中学生B部門銅賞、四国柔術チャンピオンシップ2025での優勝、中予地区中学生夏季新人ソフトテニス大会での男子新人の部第3位が表彰されました。また、愛媛県総合体育大会の剣道競技の部で男子個人第5位に入賞し、四国大会に出場した選手や、愛媛県選抜チームのメンバーとして関西中学生ラグビーフットボール大会に出場した選手の紹介も行われました。

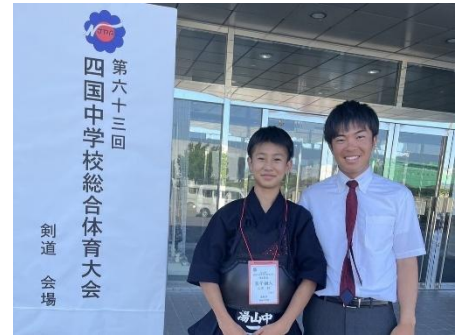
県大会・四国大会等で、素晴らしい演奏を披露したり、並み居る強豪を相手に健闘を見せてくれたりした生徒たちの活躍が光った夏休みでした。



【各競技の表彰】



【県吹奏楽コンクール出場】



【剣道競技の部四国大会出場】

## 夏休みの反省と2学期の抱負（代表生徒発表）

### 「振り返りと2学期の目標」

1年2組 Kさん

長い夏休みも終わり2学期が始まりました。皆さんは夏休みを楽しく有意義に過ごせましたか。

私が夏休みに頑張ったことは、二つあります。一つ目は、部活動です。私が所属している吹奏楽部は、8月2日にコンクールがありました。私にとって初めてのコンクールだったので、とても緊張しました。本番では、自分たちの番が近づくにつれて、さらに緊張が高まり不安が押し寄せてきましたが、先輩や友達、そして先生に声を掛けてもらい、緊張が和らぎました。演奏は少し間違えてしまったところもありましたが、自分の力を精一杯出せたので悔いはありません。コンクールまでの三カ月間、初めての楽器を上手く弾きこなすことができず、悔しい思いもたくさんしました。でも、その度に、友達や先輩に励まされ、一人一人が力を出さなければ、いい演奏にならないと心に言い聞かせて、何百回も何千回も難しいところを練習しました。最後まであきらめずに心に響くいい演奏づくりを目指して頑張れたことは、私にとって大きな財産になりました。

二つ目は夏休み中の勉強です。小学生の頃は勉強の目標や時間を設定していなかったもので、いつも最後に慌てて宿題をしていました。ですが、今年は、課題を何日までに終わらせるという学習計画を立て、1日3時間勉強するといった目標を設定したことによって、効率よく勉強することができました。

2学期私は、学級委員長になりました。学級委員長としての責任を持って、様々な活動でしっかりクラスをまとめ、先を見通して、切り替えを早くしていきたいです。そして、体育大会の練習などで全学年が集まるときは、後れを取らないように声掛けをしっかりとしていきたいです。

2学期は、体育大会や文化祭など、初めて経験する行事がたくさんあります。クラスや学年そして全校の仲間と協力しながら楽しい思い出をつくっていききたいです。



今年の夏休みは、忘れられない日々となりました。まず、7月19日から、県総体がありました。校外のラグビーチームに所属している僕は、3年生との最後の総体ということで、気合が入っていました。一回戦には勝ちましたが、二回戦では、常にリードを取られ、負けてしまいました。大変悔しかったですが、全力を出してプレーできた40分間は、かけがえのない思い出となりました。また、愛媛県選抜として、岐阜県で行われた関西大会に出場しました。一回戦は富山選抜に勝利することができましたが、二回戦は奈良選抜に敗北、3位決定戦では、岡山選抜に負けてしまいました。初めて選抜チームに入って感じたことは、周りのレベルの高さが嫌というほど分かったことです。いつもの自分のチームとは全く違う感覚でした。いろいろな県の代表には、圧倒的にすごい選手がいて、大変勉強になりました。この経験を、自分の技術向上に還元できたらと思いました。忙しく、しんどい時間でしたが、このラグビーを通じた活動は、確実に僕を成長させてくれたと思っています。このラグビーというスポーツの魅力は、迫力とスピード感を一度に味わえるスポーツであり、また、どんな特徴を持った人にもそれに見合ったポジションがあるという、多様性のあるスポーツです。12人全員で守り、12人全員で攻める、頭脳を必要としながら、また、相手を尊重する紳士的なスポーツなのです。2学期には、体育大会や合唱コンクールという大きな行事がありますが、僕がこの夏打ち込んだこのラグビーの「One Team」の精神で、向き合っていきたいと思います。いつもと思いますが、クラスというのはいろいろな考えを持った人たちの集合体です。違うのは当たり前。行事に向かって練習していく中で、個性を尊重しながらお互いに理解していければ、クラスとしてより高め合える素晴らしい集団になれると思います。学習面でも同じです。一年間で一番長いこの2学期が、より学力を身に付けることができるのです。クラスで日々の授業に、真剣に取り組んでいきたいです。

また、僕たち2年生は、早速9月9日、10日、11日に職場体験学習があります。そのために、1学期から準備を進めてきました。

各事業所で、それぞれが有意義な学習ができるといいなと思います。2年生のみなさん、2学期は本当に忙しい日々ですが、早く気持ちを切り替え、行事に追い立てられるのではなく、しっかりと自分の意志を持って、何事にも意欲的に取り組んでいきましょう。



【代表生徒発表（1年）】



【代表生徒発表（2年）】



【代表生徒発表（3年）】



今年の夏休みは、最高学年としての「厳しさと楽しさ、そしてやりがい」を実感しました。県総体から始まった夏休み。3年間続けたソフトテニスを県総体に繋げることができたのはとてもうれしかったです。今までにないほどに練習し、その成果を発揮することができました。苦しい練習にも耐え、チームで協力し、支え合うことができたから最後まで続けることができました。3年間の部活動を本当に良い形で締めくくることができました。

また、夏休みには、高校見学会がありました。訪問して驚いたのは、高校生の礼儀正しさです。工業科のある高校で繊維の学習を体験させてもらいました。実際に高校に行き、自分の目で見て話を聞いて、体験することはこれからの進路を考える上で参考になり、大切なことだと実感しました。

自分の希望の進路を実現するためには、学力の定着と向上が必要です。7月の実力テストでは思うような結果が出ず、反省点がたくさん残りました。そのため、夏休みは1、2年生の復習を中心に学習を始めましたが、なかなか集中力が続きません。「自分に厳しくしなければ成長はない。」自分の希望する高校で充実した高校生活を送っている姿を想像して気持ちを奮い立たせました。そうすることで、今年は受検生であることを自覚した今までとは違う夏休みとなりました。

2学期の体育大会で、私は応援リーダーとなりました。最初は不安な気持ちが少しありましたが、練習を重ねるうちに、自分たちのブロックの応援がどのようになるか楽しみになってきました。限られた時間の中で仲間たちとどう表現し、構成していくか、苦労の連続でした。応援をゼロから作り上げる難しさも感じましたが、仲間と試行錯誤しながら、いいアイデアが生まれ、形になっていくことの嬉しさもありました。3年生である私たちがリーダーとなり、みんなを引っ張っていかなくてはなりません。今までの先輩方の変身を実感するとともに、責任感とやりがいを感じました。青嵐ブロック、紅炎ブロック全員が感動できるような体育大会にしたいです。

2学期は、進路に向けて最後まで諦めず、目標達成に向けて努力を続けていきたいです。また、中学校生活最後の体育大会や合唱コンクールを全力で楽しみ、自分から声を出して、動いて、仲間とともに成長していきたいです。そして、湯山中のみんなと絆を深められる2学期にしたいと思います。

## 親子奉仕活動

8月30日、湯山中学校の運動場で「親子奉仕活動」が行われました。熱中症対策のため朝8時からの活動ということでしたが、当日は生徒だけでなく、たくさんのPTAの方々に集まっていただき、あっという間に運動場がきれいに整備されました。時折涼しい風も感じられる中ではありましたが、途中給水タイムをしっかりと取りながら、PTAの方々と協力しながら、効率よく作業を進めることができました。作業終了後には、生徒たちも美しくなった運動場を見て、とても喜んでいました。中には、さっそく2学期に行われる体育大会に向けて、気持ちを高めていた生徒もいたようです。PTAの皆様ご協力ありがとうございました。



【PTA 会長様からのご挨拶】



【運動場周辺の落ち葉の回収】



【PTAの方々と一緒に活動】